

野菜の新品種紹介

雪印種苗(株) 中央研究農場

室長 岩見田 慎二



はじめに

『医食同源』。食べ物が体を守る。野菜は食べるクスリだ……。最近、このような言葉が新聞・雑誌によく見られるようになりました。また、米などの穀物を主食とし、野菜、海産物、畜産物をバランスよく食べているとされる『日本型食生活』の重要性が再認識されてきています。

野菜は、古くから日本人の食生活の中で、ミネラルやビタミンの供給源として重要な役割を果たしてきていますが、近年は食物繊維の供給源としても注目されてきています。

さらに最近では、これら野菜に豊富に含まれるミネラル、ビタミンや食物繊維が相乗的に働きあってガンや動脈硬化などの成人病予防に重要な役割を果たしているとする考え方が示されてきています。

このような中、今後は安全性だけでなく、栄養価が高いなど、より積極的に健康の増進に役立つ野菜の供給がより強く求められるものと思われ、これに対応した品種の開発、栽培技術の確立が望まれます。

一方、高齢化や女性の社会進出、また、農村周辺における労働力不足などの社会構造の変化の波は野菜産地にも押し寄せてきています。

収穫作業の負担の大きい重量野菜の作付減少が予測され、また、間引き、移植、除草などの管理作業や収穫、調整、選別作業における労働力不足が野菜産地の形成・維持の上で大きな問題となっています。

これに対し、野菜生産における移植や収穫作業の軽減を目指して、機械化の検討が積極的に行わ

れています。また、品種の面では、労力を要する収穫・調整・選別作業の軽減化のため、収穫しやすい品種、選別の手間の少ない揃い性の良い品種の開発が望まれています。

弊社では、各種野菜の優良品種の開発を行っておりますが、上記のような将来的な野菜の需要動向を見極めるとともに、生産における諸問題の解決に役立つ品種の開発を進めていきたいと考えております。

ここでは、最近発売、また、来春より発売予定の新品種について紹介致します。

1 ホウレンソウ

ホウレンソウは緑黄色野菜として、その栄養価に対する消費者の認識も高く、周年需要の多い野菜です。

弊社では、北海道・東北・高冷地を中心とした夏ホウレンソウ、および府県一般地・暖地を中心とした冬ホウレンソウの開発を進めておりますが、秋～早春播き用としてべと病新レース4に抵抗性の新品種「アールフォー」、「ニュースターII」、また、夏播き用品種として高品質、多収な「晩抽ジュリアス」を発売致しておりますので紹介致します。

1) アールフォー

べと病新レース4に抵抗性があり、秋～早春播きで低温伸張性が優れ、濃緑で品質の優れた剣葉品種です。

① ベト病新レース4に抵抗性

ホウレンソウの良品の安定生産を進める上で問題となるものにべと病があり、その防除においては、薬剤散布とともに抵抗性品種の育成が大きな



ハウレンソウ・アールフォー

役割を果たしてきています。

しかし、数年前より従来のレース1~3抵抗性品種を犯す新レースが出現してべと病レース4と確認され、その被害が広がる中で、抵抗性品種の育成が望まれていました。

弊社が昨年秋に新レース4抵抗性品種として発表し、各地でご好評をいただいております「アールフォー」はべと病新レース4に対しても抵抗性があり、べと病の発生が多い秋~早春播きで安心して栽培することができ、安全性の高いハウレンソウの生産が可能な品種です。

② 濃緑の剣葉種で、秋~早春播きに最適

草姿は立性で、低温伸張性が優れ、株張りよく、葉は濃緑で照りのある剣葉種で、秋~早春播きの冬ハウレンソウとして品質、収量ともに優れています。

2) ニュースターII

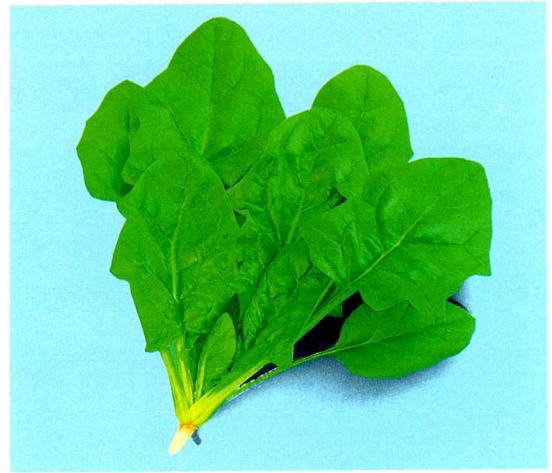
べと病新レース4に抵抗性があり、北海道・東北の晩夏~初秋・早春播きで、低温伸張性が優れているとともに、気温がやや高い時期でも濃緑でしっかりと株張りのする多収品種です。

① べと病新レース4に抵抗性

アールフォーと同様に、べと病新レース4に抵抗性があり、べと病の発生の多い晩夏~初秋・早春播きでも安心して栽培できます。

② 晩夏~初秋・早春播きでじっくり育つ

草姿は立性で、低温伸張性が優れているとともに、気温がやや高い時期の栽培でもアールフォー



ハウレンソウ・ニュースターII

より葉柄が伸びにくく、濃緑でしっかりと株張りのする多収な剣葉品種です。

3) 晩抽ジュリアス

北海道・東北・高冷地の5~7月播きに適した極晩抽性で、生育早く、濃緑、多収、かつ収穫調整の容易な夏播き用品種です。

① 極晩抽で、株張りのよい多収品種

5~7月播きで、生育がジュリアス並みに早いうえに、極晩抽性で抽苔がより安定して遅く、作りやすい夏播き用品種で、青果用だけでなく加工用としても適しています。

葉はジュリアスに似た濃緑でやや尖り気味の丸葉ですが、葉幅がやや広く大葉で、株張りがよく、多収を得ることができる品種です。



ハウレンソウ・晩抽ジュリアス

② 収穫調整が容易

草姿は半立性で、葉が外に垂れず、葉柄の折れが少ないため収穫しやすく、フィルム詰め、結束ともに調整が容易となっています。

2 サヤインゲン

サヤインゲンはビタミンのほかに食物繊維の含有量が多く、緑黄色野菜として更に消費の伸びが期待される野菜です。

弊社では、関西・中京市場向けとして、丸莢、スリムで曲がりがなく、濃緑で品質の優れた「スノークロップ・ネリナ」を販売し、ご好評をいただいておりますが、本年春より「ベストクロップ・キセラ」を新発売致しました。

1) ベストクロップ・キセラ

スノークロップ・ネリナ並みの中生種で、ネリナより更にスリムな莢で、Lサイズにおいても従来のS～Mサイズ並みの細さで、濃緑で曲がりのない高品質莢が得られるL穫り専用の新しいタイプの品種です。

① Lサイズでもスリムで高品質な莢

莢はくびれのない丸莢で、濃緑で曲がりがなく、また、極めてスリムで、Lサイズ(莢長13～15cm)となっても莢の太さは6～7mm程度で、ネリナなど従来の品種と比べて更にスリムな品種です。

本品種はLサイズとなっても従来のS～Mサイズ並みの細さで、濃緑で曲がりのない高品質な莢であることが大きな特徴ですので、この特徴を生

かしたLサイズ中心の収穫が最も適しています。

② 莢離れがよく、収穫が容易

サヤインゲンの栽培において最も負担の大きい部分は収穫・調整作業ですが、「ベストクロップ・キセラ」はネリナよりも莢離れがよく、収穫作業が容易になっています。

また、収穫・調整作業の軽減のために一斉収穫の検討が進められていますが、本品種はL規格でも6～7mm程度のスリムで高品質な莢が得られること、また、子実の肥大が緩慢なため収穫適期の幅がとりやすく、一斉収穫にも適しています。

3 カボチャ

カボチャはビタミンA効力を持つβカロチンを多く含み、緑黄色野菜として需要が増えています。また、緑黄色野菜の中では、比較的貯蔵がきくため、利用しやすい野菜といえます。

弊社では、来春より食味の極めて優れた淡緑系の新品種『ゆきこ』を発売致します。

1) ゆきこ

開花後45～50日で収穫できる淡緑色、くり型の早中生種で、極めて粉質が高く、食味が特に優れた品種です。

① 極めて粉質で、食味が優れる

開花後45～50日で収穫期に達し、完熟すると極めて粉質で、糖度も高く、食味が優れています。果実はくり型で淡い緑色に灰白色のちらしが入り、果肉が厚く、極めて粉質な食味とも合わせて従来



インゲン・ベストクロップ・キセラ



カボチャ・ゆきこ

にない特徴的な品種です。

② 着果性の優れた多収品種

一果重1.3~1.8kg程度の中大果で、着果性が優れており、一つに3果程度の着果が可能で、収量性も良好です。

4 アスパラガス

グリーンアスパラガスは近年需要が増えていますが、緑黄色野菜としてビタミン類を多く含むとともに、血圧降下作用があるといわれるルチンを多く含み、栄養価の高い野菜です。

弊社では、早生、多収なF1品種「キャンドル」を販売し、ご好評をいただいておりますが、来春より全雄系で極多収なF1品種「エリート」を新発売致します。



アスパラガス・エリート

1) エリート

生育旺盛で、定植後早くから収穫できる全雄系のF1品種で、揃い性が優れ、収量性が極めて高い品種です。

① 早期収量多く、極めて多収

生育旺盛で、株の揃いが良いため、有効茎数が多く、従来の品種に比べて極めて多収となります。また、若茎の発生が早いいため早期収量が高く、露地栽培だけでなく、早期出荷を狙う促成、半促成、トンネル栽培に適しています。

② 全雄系のF1品種

雄株率が95%以上の全雄系のF1品種で、株の揃い性が優れており、品質の揃った若茎を生産することが可能です。また、全雄系のため、種子の落下による野良生えの心配の少ない品種です。

若茎は濃緑色で揃いが良く、頭部のしまりはやや弱く、アントシアンはやや強く入ります。

以上、最近発表致しました品種および来春から発売予定の新品種について簡単に紹介しましたが、その特性をよく理解していただき、ご利用いただければ幸いです。

また、このほかにエダマメの「サヤムスメ」、「サヤニシキ」、ダイコンの「涼太」、「幸太」、「優太」、ニンジン「寒紅五寸」、メロン「デリカ」などを最近発売し、各地で好評をいただいておりますので、併せてご利用をお勧め致します。

雪印推奨図書案内

◎イネ科・マメ科牧草の主要病害を写真入りで解説！

原色 「牧草の病害」

A5判 200頁 西原 夏樹著 頒価 3,000円

◎アルファルファの品種・栽培・病害虫・収穫調製などを網羅！

新刊 「アルファルファ(ルーサン) —その品種・栽培・利用—

A5判 250頁 鈴木 信治著 頒価 3,000円

◎酪農家のバイブル、サイレージ調製には、これ一冊でOK！

微生物のパフォーマンスとその制御 「サイレージバイブル」

A5判 124頁 監修 高野 信雄 安宅 一夫 頒価 1,000円

◎植物ホルモンに関しては、これ一冊でOK！

作物の収量・品質向上への期待 「サイトカイニンバイブル」

A5判 125頁 編著 霞田 隆治 頒価 2,000円

★いずれも送料、消費税込み価格。お申込みは最寄の弊社営業所へ